

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870101916
法人名	社会福祉法人 ともの家
事業所名	溝辺ともの家
所在地	松山市溝辺町甲 1 1 9 - 1
自己評価作成日	平成21年6月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>重度の方が多くなっているが、一人ひとりの個性性を大切にして、その人の好きな事、安心する事などをスタッフ全員が把握して、穏やかで、心地よく、笑顔の時間が少しでも多くなるように支援させていただいている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>ご家族も一緒にご本人のふるさと訪問をされたり、利用者が、ご家族に電話したり、ご家族からのお手紙に返事を書くことを積極的に支援されている。 散歩されたり洋服を買いに行かれたり、喫茶店にコーヒーを飲みに出かける方もある。又、利用者より「温泉に行きたい」という要望があり、利用者全員が参加し、ご家族もともに日帰りで温泉旅行に出かけ楽しまれた。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> 1 ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 溝辺ともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

菅原佐代子

評価完了日

平成21年6月25日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 利用者サービスの基本方針に「家族、友人、地域との交流を大切に、社会性の維持、回復に努める」を掲げ、常にホームを開放して、来訪してもらったり、入居者個々も地域に出かけるようにしている	
			(外部評価) 事業所は、「利用者が地域の中で、普通に暮らせること」を目指し取り組まれており、玄関に理念や基本方針を掲げ、職員間で共有されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 年間4回、バザー、ロビー展を開催して、地域の方に来ていただいたり、散歩や買い物に出かけて、地域の方と交流している	
			(外部評価) 職員が町内の清掃活動に参加されたり、管理者は地区の防災訓練に参加し、地域の方達とともに訓練を行われた。又、法人全体で行う夏祭りやロビー展には地域の方が多数来られ、利用者との交流の機会となっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 看取りのシンポジウムを開催したり、ソフト食を作り、運営推進会議などで、試食していただいている。見学や実習を積極的に受け入れ、支援の実際を見てもらったり、相談に応じている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>3ヶ月に一度の運営推進会議では、事業所で行なう行事 の報告や今後の予定などについて話し合っている。そ の場で表明された意見はスタッフ一同で話し合い、 サービス向上に活かしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>柔らかい食事のソフト食の試食をしてもらったり、消 防署の協力を得てビデオ学習も行っておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の中に、生活保護受給者がおられ、市の生活福 祉課の担当の方に、毎月のその方の状況を手紙で伝え ている</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域包括支援センターの方に「法人だより」を渡し、 事業所の活動を知ってもらったり、運営推進会議時 には、ご家族から出された質問の福祉用具の購入につ いての説明をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全職員が身体拘束は虐待であるとの認識を持ってお り、居室や玄関を施錠するこなく、拘束のないケアに 取り組んでいる。6月22日に理事長による身体拘束 の研修が行われた</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人内研修等で、職員は身体拘束をしないケアにつ いて学んでおられる。職員の日配り気配りで、玄関の施 錠はしないケアに取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 全職員が虐待に対して、人権侵害であるとの認識を持って、防止に努めている。(6月22日に理事長による研修があった)	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 入居者の中に、成年後見制度を活用しておられる方もおられ、支援している	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の締結、解約の相談の時には、ご家族とコミュニケーションを図り、理解、納得していただけるように努めている	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居者やご家族がいつでも意見、不満などを表わすことができるように、柔軟な姿勢をとり、要望がでた時には話し合いをもち、運営に反映させるようにしている (外部評価) 法人全体の家族会があり、事業所のご家族の方々も参加されている。今年度、入浴用車椅子を家族会より寄贈していただき、利用者も喜ばれている。運営推進会議や行事時、来訪時等に意見を聴くようにされている。	さらに今後も、ご家族から運営についてご意見が出しやすいような働きかけを続けていかれてほしい。たとえば、お金のことや職員の異動等、ご家族は気になることではないだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			管理者会議、職員会議で意見交換などを行っている。また、職員提言メモを代表者に提出して、代表者は提言に対して、回答をし、運営に反映させている	
			(外部評価)	
			職員は、「職員提言メモ」で意見を出せるようになっており、勤務時間についての改善やケアのアドバイス等、対応してくれている。又、管理者は日常的に、職員の悩みや意見を聴くようにされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は職員の勤務状況を把握し、また、サービス向上のために、各委員会を設けて、各人が意欲ややりがいをもてるように努めている。職員会議、研修会への出席や発言等を勧奨して、賞与に反映している	
			(外部評価)	
			職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			資格取得のための勉強会や研修会を開き、多くの職員が参加している。また、外部の研修会に参加できるように、事業所全体で協力している	
			(外部評価)	
			同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			看取りのシンポジウムを他のグループホームと合同で開催して、サービスの質の向上のための取組みをした	
			(外部評価)	
			看取りのシンポジウムを他のグループホームと合同で開催して、サービスの質の向上のための取組みをした	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居者の思いに寄り添うことに努め、安心感を持っていただくことを大事にしている	
			(外部評価)	
			入居者の思いに寄り添うことに努め、安心感を持っていただくことを大事にしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			相談時などに、きちんと面談を行い、積極的傾聴に努めている	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			初期段階で本人と家族が「その時」に必要としている支援をあらゆる角度から判断し、その人に合ったサービスを提示するなどの対応をしている	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			職員は「させてもらって、ありがとう」の気持ちを大事にしており、共に暮らすなかで支えあっている	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			ともの家では家族をケアパートナーであると位置づけており、職員と家族の双方から本人を支援するようにしている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			ふるさと訪問や子どもや親族の家への訪問などの支援を積極的にしている	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	ゲームや外出などで入居者同士が関わり合ったり、普段の生活でも職員の橋渡しで、一人ひとりが孤立しないように支援している
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	利用が終了しても、家族が立ち寄ってくださるなど、関係を断ち切らないようにしている
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	ケアプラン作成時にはセンター方式を導入し、本人本位のプランを作成している。また、本人、家族に暮らし方の希望を聞き取りしている
			(外部評価)	
				入居時、ご本人ご家族よりこれまでの生活習慣や好みを教えていただき把握されたり、意思表示のむづかしい方は、表情を見ながら思いや意向が把握できるよう努めておられる。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	センター方式の情報シートを作成して、生活暦や嗜好などを把握し、ケアに生かしている
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	一日の生活の様子を記録に残し、情報交換に努めている

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族と話し合い、また、職員同士が意見を出し合って、介護計画を作成している</p> <p>(外部評価)</p> <p>担当職員を中心に、ご本人ご家族・職員で意見を取り入れ作成されている。長期目標6ヶ月で見直しされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人記録にケアの実践状況や結果を記録し、職員がその内容を共有することで、統一された効果を得られるように努めている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族の状況に応じて、通院、外出の付き添い、また、ふるさと訪問の同行など柔軟な支援をしている</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>隣のスーパーへの買い物、理、美容室の利用、近くの公園への散歩など、日常的に支援している。また、入居者の作品をロビー展などで展示する機会を設け、地域の方々に公開して交流のきっかけをつくっている。ボランティアや地域の方の訪問を大いに受け入れている</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			希望のかかりつけ医を受診されている。重度の方はご 家族とも相談して、24時間対応の訪問診療を受けられ ている	
			(外部評価)	
			かかりつけ医の受診や協力医の月1度の往診がある。 往診や受診後は「受診記録」を記入し、職員全員で把 握されている。協力医は、緊急時等24時間対応して くれるようになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師に必要な応じて、相談して、助言、指導をも らっている	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時には医療機関と情報交換や相談に努めている	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			看取りに関する指針を作成し、それに沿って、家族や 関係者話し合うようにしている	
			(外部評価)	
			事業所では、利用者やご家族の希望に応じて、看取り 支援を行うことを決めておられる。体調や状態の変化 時には、医師の助言等もいただきながらご家族とも話 し合いをしている。職員は、「最後までその人らしく 生きることができるよう」支援していきたいと話して おられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時対応について、マニュアルを作成している。また、医師や看護師からの研修会で応急手当などを学んでいる	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地区の防災訓練に参加したり、年に2回、消防署の指導を受け、避難訓練などを実施し、防災設備の充実も、随時検討している (外部評価) 7月には、事業所で夜間を想定した避難訓練を予定されていた。災害時には、近くにある法人内の事業所と連絡を取り合い、協力し合うことになっている。消防署からは、重度化した利用者の避難方法についてアドバイスをいただいた。	さらなる利用者職員の安心安全に向けて、いざという時、事業所に協力いただける方を増やしていかれてほしい。又、地域の方達との相互に協力できるような体制を作っていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳ある生活を保障することは、ともの家の運営理念でもあり、また、接遇態度でも言葉かけを大事にしている。他に発信する場合は本人や家族に聞き取り、プライバシーの保護を守っている (外部評価) 職員は、「してあげる」でなく「させてもらう」という意識を持って支援されている。利用者に対する言葉使いや、声のトーン等にも気を付けておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の生活は自己決定、意思に基づき、インフォームドコンセントをきちんと行っている。説得ではなく、納得をもって、介護している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	一人ひとりの体調やペースに合わせて、生活をしていただいている。常に本人の意向を大切にした支援をしている
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	衣類は本人に選んでいただくようにしている。スカーフを巻くことを提供したり、髪型などの身だしなみにも気を使っている
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	食べたいものを尋ね、その意向に添って、献立を作ったり、食事の準備やかたうけを一緒にしている
			(外部評価)	調査訪問時、食事介助が必要な方が複数おられたが、職員は利用者に今、食べている食材について説明されたり、夕食のメニューを相談されている様子がうかがえた。時には、近くの店に利用者と食材を買いに行かれたり、野菜を切ったり、卵の殻むきを一緒にされることもある。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	食事チェック表を用いながら、一人ひとりの状態に注意し、食べる量が少ない方は栄養補助食品で補ったり、水分もゼリーを利用したりして、こまめに提供している
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	毎食後に口腔ケアを行うようにしている。また、訪問歯科医に定期的に指導していただいている

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、できるだけトイレでの排泄の支援をしている。また、サインを見逃さないように、随時誘導している (外部評価) 一人ひとりの排泄のサインを見極め、声をかける等、トイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎朝、冷たい牛乳を飲んでいただいたり、こまめな水分摂取、繊維食品の摂取、また、運動への働きかけをして、予防に取り組んでいる	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴は希望に添って入っていただいている。また、ゆっくり湯船でリラックスできるように支援している (外部評価) 入浴用の車椅子を利用して、利用者の入浴時の負担も少なくなった。職員とおしゃべりしながら入られる方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの体調に合わせて、日中の臥床も取り入れている。冷え性の方には湯たんぽを使用して、安眠できるように支援をしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医療情報に一人ひとりの薬の内容について記録し、職員は確認している。服薬の支援と症状の変化も読み取れるように、観察を怠らないようにしている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 戸外に出て、気分転換できることを月の目標にもして、支援している。また、一人ひとりの出来る事を無理なくしていただけるように支援している	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や買い物、また、玄関先やデッキに出て、外気浴ができるように、積極的に支援している。近くの公園やスーパー、喫茶店などにも本人の希望を尊重して出かけている	
			(外部評価) 散歩されたり洋服を買いに行かれたり、喫茶店にコーヒーを飲みに出かける方もある。又、利用者より「温泉に行きたい」という要望があり、利用者全員が参加し、ご家族とともに日帰りで温泉旅行に出かけ楽しまれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご自分でお金を所持して、買い物に出かける支援をしている。ご自分で管理できない方にも買い物のときは職員の関わりで、支払いをしていただいている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族に電話をされたり、また、手紙のやり取りができるように支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングには季節の花が飾られ、入居者にとって混乱がないように、静かな雰囲気になっている。照明も自然の光を大事にしている。職員の声も大きくならないように注意している</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、自然光を大切にされている。居間には、ボランティアの方の協力を得て、利用者が活かした季節の花が飾られていた。利用者が作った刺繍や俳句の作品が居間に飾られており、時に話題となっている。廊下に椅子を配しておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>構造上、リビングの共同空間で独りになることは難しいが、気の合った入居者同士が側に座ったり、また、座る所を五字分で選んでもらっている</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人の家にあった家具や仏壇などのなじみの物や、ご本人の好きな物を居室に置いて、居心地の良さを工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の写真を飾られていた。仏壇にお花をお供えしたり、ご家族と選んだ暖簾が入り口にかけていた。昼食後に居室で横になっていた方がうかがえた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下やトイレには手すりを設置、玄関や廊下の角には腰掛け用に椅子を置いている。共用スペースは安全なようにすっきりさせるようにしている。</p>	